

# 労働保険事務組合のみなさまへ

## 「保険料・一般拠出金申告書内訳」の 電子媒体での提出が可能となります。

年度更新の手続きにおいて、労働保険事務組合（以下「事務組合」という。）より都道府県労働局へ紙媒体で提出いただいている「保険料・一般拠出金申告書内訳」（以下「申告書内訳」という。）については、平成25年度から電子媒体での提出が可能となります。

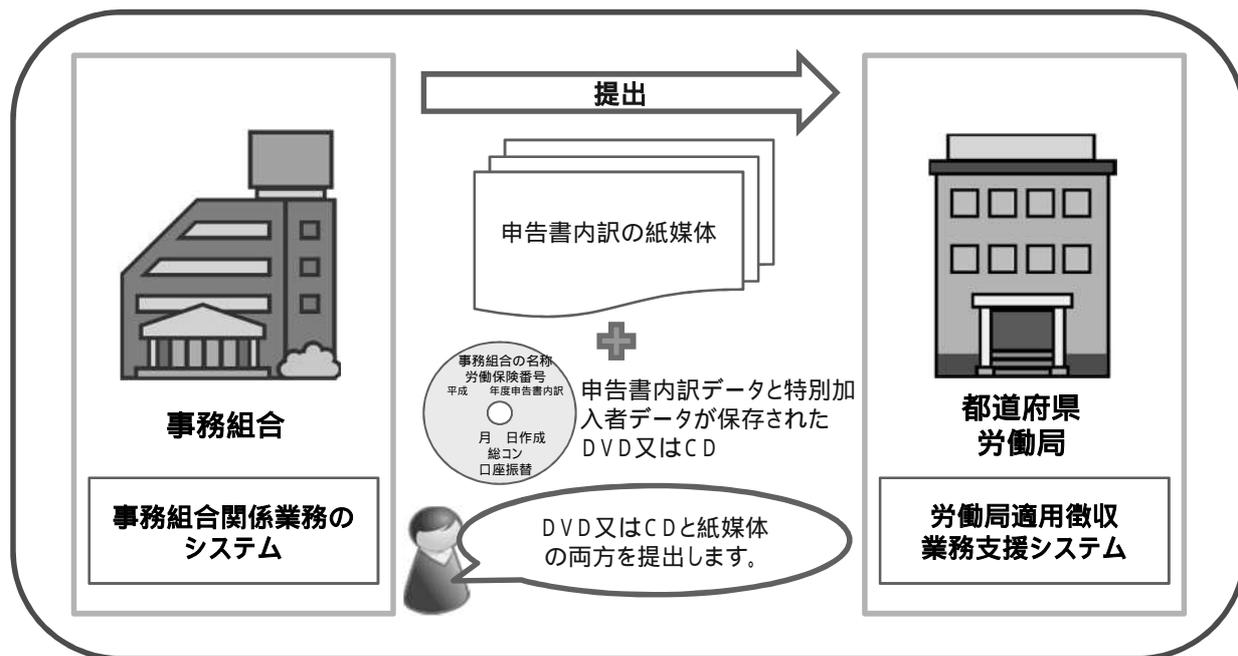
電子媒体で提出する場合は、厚生労働省HP内の「労働局適用徴収業務支援システムの仕様公開について」において公開している「インタフェース仕様書」（ ）に沿った電子ファイルを、DVD又はCDへ保存し、紙媒体と一緒に都道府県労働局へ提出願います。

インタフェース仕様書とは、システム間でデータのやり取りを行うための保存形式について記載されたものです。

### 「労働局適用徴収業務支援システムの仕様公開について」掲載場所

- ▶ 検索する場合：厚生労働省HPのトップページの右上の検索欄に「労働局 仕様公開」と入力し、検索してください（ は全角スペースを表しています）。
- ▶ アドレスを直接入力する場合  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/hoken/shiyou\\_koukai/](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/hoken/shiyou_koukai/)

申告書内訳のDVD又はCDでの提出概要は、以下のとおりです。



# 労働保険事務組合のみなさまへ



## Q&A

Q1	<b>労働局適用徴収業務支援システムとは。</b>
A1	「労働局適用徴収業務支援システム」とは、都道府県労働局において、事務組合から提出される申告書内訳等の受付、審査等の業務処理を支援するシステムです。
Q2	<b>仕様公開の対象は何か。</b>
A2	仕様公開の対象は、申告書内訳情報と第1種特別加入者情報です。
Q3	<b>いつからDVD又はCDでの提出が可能になるのか。</b>
A3	平成25年度の年度更新からです。 提出されたDVD又はCDは返却いたしません。 DVD又はCDのラベルには、「事務組合の名称、労働保険番号(枝番号は不要)、平成 年度申告書内訳、作成日付、総コン(総コンシステムから出力した場合)、口座振替 (口座振替を行っている場合)」と記載してください。 なお、ウィルス対策ソフト等で事前にウィルスのチェックを行ってから提出ください。
Q4	<b>DVD又はCDのみでの提出が可能になるのか。</b>
A4	DVD又はCDと紙媒体の両方を提出していただきます。
Q5	<b>DVD又はCDの種類は何か。</b>
A5	DVDはDVD - R、DVD + R、DVD - RW、DVD + RW、CDはCD - R、CD - RWを使用してください。
Q6	<b>事務組合設立時、増減額訂正時に作成する申告書内訳についても、DVD又はCDでの提出が可能になるのか。</b>
A6	DVD又はCDでの提出は、年度更新時に作成する申告書内訳のみが対象です。 よって、紙媒体での提出をお願いします。
Q7	<b>「労働保険事務組合総合コンピュータシステム」(通称「総コンシステム」)を活用して、作成した申告書内訳の電子ファイルは対応しているか。</b>
A7	総コンシステムの中の「データ管理メニュー」にある「年更マスターデータ出力」ボタンを押下して出力した電子ファイルについては対応しています。これ以外の方法で出力する場合は、仕様公開しているインターフェイス仕様書に沿った形で提出してください。
Q8	<b>問い合わせ先はどこか。</b>
A8	インターフェイス仕様書の内容に関する問い合わせは、労働保険徴収業務室業務第1係(03-3920-3311 内線404、405)です。 労働保険料年度更新の制度に関しては、各労働局労働保険担当部署です。